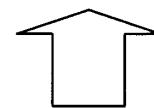
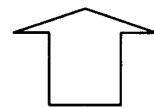
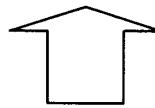
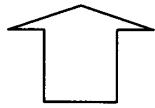


## <我が国経済の基調判断>

景気は、引き続き一部に緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、環境は厳しさを増している。



雇用情勢は、一部に改善への動きがみられるものの、失業率が高水準で推移するなど、依然として厳しい。

個人消費は、横ばいで推移するなかで、一部に底堅さもみられる。

企業収益は改善の兆しがみられ、設備投資は下げ止まりの兆しがみられる。

輸出は増加テンポが緩やかになっており、生産は緩やかな持ち直しが続いている。業況判断は、改善がみられるものの、そのテンポが緩やかになっている。

先行きについては、景気は持ち直しに向かうことが期待されるが、アメリカ経済等への先行き懸念や我が国の株価の下落など、環境は厳しさを増しており、我が国の最終需要が下押しされる懸念が強まりつつある。